

10. 九州（地域別調査機関：（財）九州経済調査協会）

（－：回答が存在しない、○：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (九州)	良く なっている	百貨店（売場担 当）	競争相手の様子	・本店及び競合他社の様子を見ると、3か月前の売上は1店が前年比1%減、もう1店が同2%増、本店が同1%減となっていた。一方、今月は1店が前年比5%増、本店も同5%増となった。また5月の売出し2か間を繰り上げて実施した他社は前年比4～9%増と、軒並み前年比が上がっている。本店のみでいうと購買率が少し減少しているものの、来客数及び客単価、1品単価が前年実績を上回っている。カテゴリ別では紳士が前年比4%増、婦人衣料は催事がなかったため同5%減、身の回り品が同5%減、食料品が同27%増、家庭用品が同12%増となっている。
		コンビニ（販売 促進担当）	販売量の動き	・今月の売上は前年比8.8%増となった。グループの量販店も前年比9.5%増、ローカルスーパーが同10.4%増となり、今年に入り、初めて前年比を大きく伸ばしている。販売数量も好調に伸びている。
	やや良く なっている	商店街（代表 者）	来客数の動き	・春物商戦に入り、来客数が昨年に比べて増加し、購買客単価も前年比10%強上昇している。
		商店街（代表 者）	販売量の動き	・当社は彫刻業務部門があり、名入れ業務が増加している。また、移動時期ということもあり、合い鍵の作成が大幅に増加している。当店は防犯性の高いディンプルキーを作成できるため、他店より強みがある。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	販売量の動き	・今月は卒業式や退職、異動等の需要があったので通常の月よりは良かったが、取り立てて良くはない。夏の赤字分を埋め合わせる程にはなっていない。
		百貨店（売場主 任）	お客様の様子	・3月は気温が高く推移していることもあり、衣料品の動きが良い。全般的に高額な商品や特選インポートショップ、高級紳士服等が好調である。少しずつはあるが、生活必需品だけではなく、嗜好品の動きが良くなっている。
		百貨店（営業担 当）	お客様の様子	・春のファッション展開に合わせ、婦人服モデル実施と大型物産催事開催、クレジットポイント催事開催で来店促進と購買意欲の高揚を目指した。消費税増税を見据え、プライダルやリビング関連、高額商品への関心が高まっている。
		百貨店（営業統 括）	単価の動き	・2月後半位から、高額品の売上が徐々に上がってきている。
		百貨店（売場担 当）	販売量の動き	・3月頭から終盤にかけて非常に気温が高く、暖かかったため、春物衣料を中心に活気付いている。アベノミクス効果で景気が良くなりつつあるという話を聞くが、そういうわけではない。
		コンビニ（店 長）	販売量の動き	・販売量、来客数共に多い。
		コンビニ（エリ ア担当・店長）	来客数の動き	・店の前の桜が例年よりも早く開花したのが影響しているのか、近くの公園で花見をする客が増えて、来店が増えている。
		衣料品専門店 （チーフ）	単価の動き	・消費マインドが回復に向かっており、まとめ買いをする傾向が多くみられる。
		衣料品専門店 （総務担当）	単価の動き	・高額品はもちろんのこと、中間価格帯の売上が以前に比べて上昇しつつある。
		乗用車販売店 （従業員）	単価の動き	・燃費が良く、単価の低いエコカーが動いている。
		乗用車販売店 （総務担当）	販売量の動き	・新車や中古車の販売が前年実績を上回り、好調に推移している。ガソリン価格の高騰が関係するのかわ、燃費の良いコンパクトカーやハイブリッドカーの販売が伸びている。
		住関連専門店 （店長）	販売量の動き	・高額商品はまだ動きが良くなっているとは言いが、生活必需品等は以前のような買い控えはなくなっている。
		その他専門店 〔コーヒー豆〕 （経営者）	来客数の動き	・3月に入って卒業や人事異動関係でちょっとしたプチギフト等が店頭では売れている。ギフト商品を求める客の来店が増加している。
		その他小売 〔ショッピング センター〕（広 報担当）	来客数の動き	・明らかに来客数が増えている。1点単価や客単価は上がらないが、来客数が前年を上回る日が増えている。
高級レストラン （専務）	来客数の動き	・3月末は歓送迎会の時期であり、単価が少し上がっている。全般的に歓送迎会が多くなり、売上が少し上がった。		

高級レストラン (支配人)	お客様の様子	・客からの問い合わせが増えた。	
居酒屋(経営者)	来客数の動き	・油断はできないが、歓送迎会シーズンということもあり、年末の最悪の状況よりは人が動いている。	
観光型ホテル (スタッフ)	来客数の動き	・旅行者が増え、人の動きが活発になっている。また、レストランにおいても来客数が増えている。	
都市型ホテル (副支配人)	販売量の動き	・今月、スタート時はあまり良くなかったが、ピーク時に入って、一気に伸びている。特に単価が上がり、売上が伸びている。	
旅行代理店(企画)	販売量の動き	・シンガポールやタイを除くアジア方面の旅行受注は停滞気味であるが、ヨーロッパ、ハワイ方面が好調である。	
タクシー運転手	お客様の様子	・少しは景気が良くなりつつあるのかもしれないが、月初めの動きは毎月悪く、中旬から盛り返す感じである。	
タクシー運転手	来客数の動き	・予約状況が大変良く、日中の稼働率も良い。また、夜の繁華街の客の流れが大変良くなっており、時間帯によっては客に対してタクシーが少し少なくなっている。	
美容室(店長)	お客様の様子	・客からの話が明るい。また来単価が少し高くなっている。	
その他サービスの動向を把握できる者[介護サービス](管理担当)	お客様の様子	・期末を迎え、同業他社が好決算を迎えることが予想される。	
住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・3月の住宅契約棟数が前年、前月を共に大きく上回っている。	
住宅販売会社(代表)	来客数の動き	・新築に関していうと、ローコスト層の消費税増税前の駆け込みが始まっている。リフォームに関して、定年前の50~60代の世代が1,000~1,500万円の高額なリフォームを行う計画を立てており、増税前の工事が増えている。	
変わらない	商店街(代表者)	お客様の様子	・3月は非常に寒くなり、販売量が大きく減少している。3か月前の11、12月と比べると景気はあまり良くなく、客の消費行動にもそれほど変化はない。ただ、アベノミクスのせいか、客の心持ちは少し前向きになりつつある。
	一般小売店[青果](店長)	それ以外	・当地の中央市場は、寒い間は県外からの引き合いが強かったが、ここに来て県外の生産量が上っている。その分、当地のハウス関係でキュウリやトマト、ピーマン及びレタスが半値になっている。供給が多い分、相場が安くなり、厳しい状況が続いている。
	一般小売店[精肉](店員)	お客様の様子	・販売量や単価は以前と変わらない。
	一般小売店[茶](販売・事務)	単価の動き	・寒さが和らぎ季節的に過ごしやすくなり、例年であれば来客が増えてくる時期であるが、あまり売上が伸びていない。手軽な粉末緑茶の売上が徐々に伸びている。相変わらず1個当たりの単価は低い。
	百貨店(総務担当)	販売量の動き	・アパレルテナントに回復傾向はみられるものの、飲食テナントやエステ等サービス系テナントの売上が厳しい状況が続いており、全体を押し上げるまでに至っていない。
	百貨店(店舗事業計画部)	来客数の動き	・主力の衣料品や雑貨の動きは引き続き鈍く、必要に迫られて価格訴求品を購入するという動きが多くなっている。ファッションを楽しむよりも行事等で必要に迫られて購入している印象を受ける。他店での値引き策が集中する時期に街に出て、まとめて購入している様子である。
	百貨店(企画)	販売量の動き	・ラグジュアリーブランド値上げ前の駆け込み需要で、高額品の売上が瞬間的に増加した。景気回復にもみえたが、一過性のものであり、その後の動きは良くない。春のギフト需要も例年と同傾向で、大きな変化は見受けられない。
	百貨店(業務担当)	お客様の様子	・春の訪れが例年より早く、衣料品に期待したものの、端境期に売れるスプリングコートを始めとした重衣料の動きが鈍化した。単品買いの売上も、単価が下がり伸び悩んでいる。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・ガソリン代や電気料金等が値上がりし、給料は上がる可能性が少ないため、景気は悪くなる状況が続いている。

スーパー（店長）	販売量の動き	・新入学や就職で支出が増えているせいか、チラシ等の販売促進商品の売上構成比がわずかながら増加している。全体的な売上は3か月前と大差はない。
スーパー（店長）	競争相手の様子	・競合相手がここ1年間ディスカウントスタイルとなっており、当店の売上は前年比7%減で推移している。全体的には食品が前年比3%減、衣料品も苦戦しており同8%減となっている。今後もこのような状況で推移していくと懸念される。
スーパー（店長）	販売量の動き	・新たにディスカウントの競合店が出店して、その影響もあり苦戦している。また食品では青果物が相場安となっており、全体として、最近の景気は良くない。衣料品についても冬物の売り尽くし商品が売れなかった。ただ中国からの空気汚染問題で空気清浄機やマスク等はよく売れている。
スーパー（店長）	販売量の動き	・昨年と同じような価格で販売している商品が、売れなくなってきた。販売点数が減少している。
スーパー（店長）	単価の動き	・来客数を維持するために競合店調査等を行い、価格を上げざるを得ない状況のなか、来客数は戻るものの、単価は依然として上がらず、売上の増加にはつながらっていない。
スーパー（総務担当）	お客様の様子	・来客数は競合他社の影響もあり、減少傾向にあるが、客単価が改善されている。総じてあまり変わらない状況となっている。これまで低単価商品の動きのみ活発であったが、家具や春物衣料等の季節需要品は価格面より好性の強い物に変化している。
スーパー（経理担当）	販売量の動き	・3月は例年に比べ気温が高く、花見が早まったことから、食材の動きが活発であった。
スーパー（業務担当）	お客様の様子	・春の移動時期を迎え、新生活に必要なランドリーやキッチン小物等は販売点数が若干上昇しているが、ベッドや生活家電のような大型耐久消費材は例年より動きが悪い。売上単価が伸びず、景気の底上げが感じられない。
コンビニ（経営者）	単価の動き	・依然として、客のついで買いの様子が見受けられず、客の消費マインドは非常に低迷している。
衣料品専門店（店長）	お客様の様子	・年金生活の客が多いせいもあり、割と落ち着いている。アベノミクスで経済に動きがあるようだが、消費税増税によりどう変わるのか不透明である。今のところ、景気に変化はない。
衣料品専門店（店員）	販売量の動き	・景気が良くなったと言われているが、販売量は増えていない。セレモニー用の服は値段にシビアな客が多かった。
衣料品専門店（取締役）	お客様の様子	・客は必要な物を必要な時だけしか買わず、まとめ買いも以前に比べるとない状況であった。12月の売上はほぼ前年並みであったが、3か月後の今はセールが終わり、物の動きがまずまずといったところである。景気が良いかどうかは分からないが、セール以外の商品の物の動きがあり、売上がそこそこ良くなっている。
家電量販店（総務担当）	販売量の動き	・春商戦も盛り上がりを欠いたうえに、年間で最大の需要期を迎える携帯電話の動きも例年ほどではない。
住関連専門店（経営者）	来客数の動き	・毎月のキャンペーンは先月久しぶりに良かったので上向くかと思われたが、今月は良くなかった。店売のほうは来客数が上向き、キャンペーンの前年比マイナスがカバーできている。
その他専門店〔ガソリンスタンド〕（統括）	お客様の様子	・燃料油の小売価格は高止まりから、下げの基調となっている。客の様子をみると、燃料油の小売価格の上下はやむなしとの様子がうかがえる。ただ、カーケア商品の購入については、慎重な様子である。
その他小売の動向を把握できる者〔ショッピングセンター〕（支配人）	販売量の動き	・衣料品の動きは悪いが、全体の売上に大きな変化はない。消費が上向いたり、下降したりという様子は見受けられない。
その他小売の動向を把握できる者〔土産卸売〕（従業員）	販売量の動き	・前年比で売上が変わらない。飛行機の搭乗客は増えているが、商品の購買力は弱い。
高級レストラン（経営者）	来客数の動き	・先月と比べて選挙もなく、3月は送別会が結構入ってきたので、まあまあ良い月であった。もう少し動きがあれば、景気が良くなると断言できる。
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・一部海外リゾート等好調な方面もあるが、全般的に予約が伸びているという状況ではない。

	タクシー運転手	お客様の様子	・時々食料品等の買物に行くが、バーゲンになっても客は普段と変わらないような状況である。普段の客は結構多いようだが、どちらかと言うと横ばいの状況である。
	タクシー運転手	お客様の様子	・3か月前の12月は結構車が動いた時期であったが、3月も景気は回復傾向にある。新入学等の買物等があり、3か月前と変わらず良い。
	通信会社（管理担当）	それ以外	・資金繰りの厳しい状態が続いている。
	通信会社（営業担当）	それ以外	・客の様子をみると景気がすごく良くなったとは思えないが、良くなるだろうという期待感はある。ただ携帯電話そのものの販売量はそれほど良くない。
	通信会社（業務担当）	販売量の動き	・3月は卒業シーズンで例年同様、販売台数は増えているが、昨年ほどの伸びはない。また、スマートフォンの販売比率は上がる一方で、従来型の携帯電話の販売台数が著しく低下している。週末は来客数、売上台数共に上がっているが、平日の落ち込みをカバーするまでには至らず、全体の販売台数は厳しい状況が続いている。
	通信会社（総務局）	販売量の動き	・新規契約数は依然低調であり、特段変化はない。
	通信会社（販売部）	来客数の動き	・卒業、新生活シーズンの需要増を期待していたが、先月と比較してそれほど大きな変化はない。
	ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・年明け早々から1月になって景況感が良くなるような状況が全国的にはあるが、観光地であるこの地域の来客数は昨年のように伸びず、低迷している状況である。
	美容室（経営者）	販売量の動き	・思っている以上にアベノミクスが大手企業、輸出企業だけの動きになっており、一般消費者への良い影響はない。まだまだ景気回復という状況ではない。
	その他サービスの動向を把握できる者【フィットネスクラブ】（営業）	来客数の動き	・来客数が微増となっている。また、1人の客の来場回数の増加がみられる。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・不動産業の建売分譲とマンション分譲関係について、客の様子をみると、景気はずっと変わらない。場所的なものや価格が適正であれば、分譲は売れるという状況である。この先消費税増税等で駆け込み需要が増えてくれれば上向く。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・アベノミクスの効果で景気が上向いているという報道があるが、地方ではそういった傾向はみられない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・マスコミ等ではアベノミクスで景気が良くなっているとされているが、我々のような零細企業には全く関係ない。まだまだ我々のところに影響が及ぶには時間がかかる。
	コンビニ（エリア担当）	お客様の様子	・天候不順もあり、春、夏物商品の売行きが悪く、売上が前年を大きく下回っている。また景気の先行きが見えず、アベノミクス効果も一般庶民には浸透せず、財布のひもは依然として固い状況にある。
	衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・天候不順が続き、来客数が減少している。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・家電は3か月前の12月は若干盛り上がりしてきた感じがあったが、1～3月は期待していた動きがあまりなく、どちらかと言うと景気は思っていた以上に悪い。
	その他専門店【書籍】（地区支配人）	販売量の動き	・販売量が減っており、各商材の販売実績も伸びない。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・繁忙期であるにもかかわらず、販売数が伸びず、契約が純減となっている。
	ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・3月は春の到来として戸外スポーツが良くなる季節であるが、今年は昨年と比べると格段に天候に恵まれているにもかかわらず、客足が思うほどに伸びない。特に土日が振るわない。冬場料金を設定していたゴルフ場に早い春が訪れて人気が集まっているようである。また異動のシーズンでもあるが、歓送コンペは少ない。
	音楽教室（管理担当）	来客数の動き	・この時期は転勤等が多いので来客数が減る。
	悪くなっている	一般小売店【鮮魚】（店員）	来客数の動き

企業 動向 関連 (九州)	良く なっている	家具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新築マンションの売行きが良く、商業施設のレストラン、ホテル等の物件も確実に増えている。同業他社の家具メーカーも昨年と比較すると10～20%程度売上が上がっている。また外注先の特注家具を製作する工場はどこも受注がいっぱいで、下請先も受注が増えている。
		経営コンサルタント（代表取締役）	受注量や販売量の動き	・自社の受注状況が堅調であり、企業の投資意欲が上向いている。
やや良く なっている		農林水産業（経営者）	受注量や販売量の動き	・厳しかった1、2月の反動増や3月の行事、行楽等もあり、少しずつではあるがスーパー、居酒屋等を中心に動き始めている。大手加工メーカー等もメニュー変更等で原料肉を中心に引き合いが活発で、一部の商品については品不足も出ている。
		一般機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・ユーザーの輸出量が若干増えつつある。もちろん円安によるものである。ただし、今月については各メーカーの決算時における在庫調整で少し不透明なところがある。来月からの動きに期待している。
		一般機械器具製造業（経営者）	取引先の様子	・今まで再生エネルギー関連設備の引き合いが圧倒的だったが、徐々に他の業界の国内向け設備の引き合いが増えてきており、勢いがある。
		輸送用機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・得意先の生産計画が上方修正されている。
		建設業（社員）	競争相手の様子	・3月は2012年度の補正工事の発注もあり、周りの同業者も手持ちがある。ただすべての同業者にはまだ回っていないようで、受注できる業者に偏りが出ている。
		通信業（経理担当）	それ以外	・平成25年3月期決算見込みの売上が1割減に対し、利益は3割増の減収増益となっている。これは企業体質が強化されていることの現れであり、全般に経営の効率化が進んできている。
		金融業（調査担当）	取引先の様子	・取引先等との会話から、円安や株高の流れがマインド改善に大きく寄与している。
		金融業（営業）	取引先の様子	・取引先の様子は製造業、小売業、建設業等幅広い業種で資金繰りが落ち着いている。年度末の受注は堅調な様子である。2～3か月前は先行きがみえないとの意見が多かったが、それは現在も変わらない。しかし、先行きがみえないなか、ここまで受注が堅調に推移してきたため、精神的にも前向きである。
		経営コンサルタント（社員）	取引先の様子	・酒小売店が久しぶりに出店してきた。ただし、大手の動きである。
		経営コンサルタント（代表取締役）	取引先の様子	・関係先等の話では若干上向きになってきた話をよく聞く。実際、周りの小売店等動きをみても、客が若干増えており、動きが少しある。
		変わらない		食料品製造業（経営者）
繊維工業（営業担当）	取引先の様子			・取引先の合併等があり、景気が良くなっているようには感じられない。しかし、合併先からのオーダーが引き続きある。
窯業・土石製品製造業（経営者）	受注価格や販売価格の動き			・商品単価の状態は、高額商品の売上が少なくなり、単価の低い商品が競合するようになり、価格が上がらない。ガスはどんどん値上がり、利益を圧迫している。
精密機械器具製造業（従業員）	受注量や販売量の動き			・生産量は今年3月までは変わらない状況にある。徐々にではあるが、生産計画が増えつつある。
金融業（従業員）	取引先の様子			・百貨店やスーパーでは売上がやや回復、公共工事関連の受注が増加しているほか、雇用面でも改善の兆しが見られる。一方、自動車関連等輸送機械等では生産が減少している。
金融業（営業担当）	取引先の様子			・建設業は全般的に受注量が増えているが、物販はまだ動きが鈍い。資材や人件費の上昇で利益の増加までには至っていない。設備投資の話もまだない。
金融業（得意先担当）	取引先の様子			・法人の貸出しについては今のところ大きな動きは見受けられないが、個人の借入れ、特に住宅ローン案件の受付件数が多く見受けられるようになっている。消費税増税前の駆け込み需要が少し見受けられるが、全体としては大きな変化はない。
新聞社（広告担当者）	受注価格や販売価格の動き			・住宅設備や化粧品通販の広告出稿が活発だが、その他の食品、雑品等の通販広告が伸びず、全体ではわずかに前年を上回った程度である。

	経営コンサルタント その他サービス業〔設計事務所〕（代表取締役）	受注量や販売量の動き 取引先の様子	・コンサルタントの営業活動を行っているが、なかなか成約に結びつかない。 ・平成24年度の補正予算が成立したことから、道路工事等の公共事業が市町村から発注されている。建設工事が増えたことで活気が出てきているが、建設コンサルタント等の業務は平成24年度にすでに発注を終えており、新たな業務は発注されていない。
やや悪くなっている	農林水産業（従業者） 電気機械器具製造業（経営者） 輸送業（総務）	それ以外 受注価格や販売価格の動き 受注量や販売量の動き	・円安になり、酪農関係は特に生産現場では餌の直段が上がっており、非常に厳しい状況になっている。 ・半導体関係は急激な悪化となっており、回復の兆しがない。販売量の動きが非常に少なくなっている。新製品や受注先を探しながら何とか新年度からこの悪条件を払しょくしたいと努力をしているところである。 ・12月は年末の繁忙期で若干上向いたが、1～2月は閑散期で減少、3月は年度末で若干の増量に期待している。最近では昔ほどの急激な増量はなくなっている。
悪くなっている	○	○	○
雇用関連 (九州)	—	—	—
良くなっている			
やや良くなっている	人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（社員） 人材派遣会社（社員） 新聞社〔求人広告〕（担当者） 新聞社〔求人広告〕（担当者） 新聞社〔求人広告〕（担当者） 職業安定所（所長） 職業安定所（職員） 職業安定所（職員） 学校〔大学〕（就職支援業務）	求人数の動き それ以外 求人数の動き 求人数の動き それ以外 求人数の動き 求人数の動き それ以外 求人数の動き	・求人依頼が堅調に推移している。 ・アベノミクスの影響で景況感の良いが、現実の雇用指数及び求人指数に影響はない。効果が見られるのは半年以上先であり、現状ではこのマインドを維持できる国政に期待感がある。 ・年度末需要で順調に注文がきていたが、新規客からの注文が増えている。 ・来月、看護師就職支援ガイダンスを予定しているが、参加病院数が年々増加しており、県内で開催される他のガイダンス数も増えている。 ・株高、円安で景気はやや良くなっている。 ・医療、教育等を中心に新聞、雑誌誌含め求人が増えている。ただし、アルバイトやパートが中心で正社員の雇用が増えるには時間がかかる。 ・求職者は減少傾向となっており、新規求人は前年比でも、前月比でも増加となっている。 ・新規求人の前年比は5か月連続で上昇した。消費マインドの好転により、卸売業や小売業、宿泊、飲食サービス業の伸び率が特に高くなっている。 ・このところ求人数の増加、求職者数の減少により、有効求人倍率は上昇している。また、数か月前に雇用調整が行われていた自動車関連製造業では、円安の影響等もあり、生産が改善している。 ・2010年度からの求人件数は毎年度10%前後で増加の傾向が継続している。
変わらない	人材派遣会社（営業） 求人情報誌製作会社（編集者） 民間職業紹介機関（社員） 学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き 求人数の動き 求人数の動き 雇用形態の様子	・求人数は昨年と同じ程度で、大きな増減はない。 ・前年比で当社の求人取扱件数はほぼ変わらない状況で推移している。ビルメンテナンスや給食サービス会社等、労働集約型の職場の採用難が続いている。背景には賃金が安く、早朝で短時間のシフト勤務等がある。収入を増やしたいという傾向が見受けられる。 ・求人者数は横ばいで推移しており、年度末需要も盛り上がりなかった。 ・景気は良くなりそうだが、雇用形態の改善はみられない。
やや悪くなっている	○	○	○
悪くなっている	—	—	—